

中国語の動補フレーズ“V 坏了”の用法について — 「何」が「どう」悪くなるのか —

丸尾 誠 (名古屋大学)

1 はじめに

- (1) a. 摔坏了 [落として壊れた]  
b. 宠坏了 [甘やかしてだめになった]

形容詞が結果補語になった形 (VA 了) の文法的意味

- A. 预期结果的实现 [予期した結果の実現]

例: 凉干了 [干して乾かした]、洗干净了 [きれいに洗った]

- B. 非理想结果的出现 [理想的でない結果の出現]

例: 洗破了 [洗って破れた]、搞坏了 [壊した]

- C. 自然结果的出现 [自然な結果の出現]

例: 长高了 [背が伸びた]、变红了 [赤くなった]

- D. 预期结果的偏离 [予期した結果からの乖離]

例: 挖浅了 [浅く掘りすぎてしまった]、买贵了 [高く買ってしまった]

(马真・陆俭明 1997 : 161)

- (2) 毛三婶若是要走开的话，照着她近来热心的情形来说，她一定要先通知一声的。莫不是早上那两样礼物送坏了。(张恨水《北雁南飞》 BCC)

[前略] まさか朝のあの 2 つの贈り物がまずかったのだろうか。]

- (3) 别哭坏了眼睛。[泣いてばかりいると目がはれちゃうよ。]

(『ネイティブ中国語』 171 日本語訳も原文のまま)

例(3)の“哭坏了”の組み合わせについては、原訳では目に対する悪影響を、「腫れる」「炎症を起こす」「視力が低下する」「失明する」といった症状の候補の中から、最も想起しやすいものとして“哭肿了”と同義と捉えて意識してある<sup>2)</sup>。

- (4) 他叫牲口给踢坏了，现在住院了。(《汉语动词—结果补语》 177)

[彼は家畜に蹴られて怪我をして、現在入院している。]

“V 坏了”の表す結果とはどのようなものなのか、ときとして想像を逞しくせざるを得ず、日本語訳に苦心することも少なくない。本発表では行為や結果に関わる成分との関係を念頭に、“V 坏了”の形を用いて表される悪影響という概念について考察する。

2 “V 坏了”に反映された作用

2.1 対象に対する働きかけ

「使役化」

- (5) 打死 [殴る + (対象が) 死ぬ → 殴り殺す]  
踢倒 [蹴る + (対象が) 倒れる → 蹴り倒す]

- (6) a. 搞清楚 [はっきりさせる]  
b. 弄脏 [汚す] / 把电视的声音弄小 [テレビの音を小さくする]  
c. 弄坏 [壊す] / 搞坏 [壊す]

- (7) 而如此互相攀比的送礼风实不足取，它不仅送坏了学生的思想，而且加重了家长的心理和经济负担，

更重要的是送坏了老师的形象。(1994年人民日报 CCL)

[このように互いに張り合って物を贈る風習は本当に価値のないものであり、それは学生の思想を悪くするだけでなく、親の心理的・経済的負担を重くすることになり、さらに重要なのは先生のイメージを悪くしてしまうことである。]

“坏”の表す「壊れている」という意味は、「元の正常な状態から変化」した結果を表すものであり、そのような変化を引き起こす原因としては、“撕、碰、打、摔、踢、敲、撞”など、物理的な力が加わる現象を表す動詞を用いた場合が想定しやすいものとして挙げられる。

(8) 谁把今天的报纸撕坏了? (《汉语动词—结果补语》)

[誰が今日の新聞を引き裂いたの?]

次の例では周囲の状況が作用・影響を及ぼすという点では上記と同様に、動詞と補語“坏”の間に因果関係を読み取ることが可能である。

(9) 康赛的名字立在繁华的街道旁，就是一个风吹不倒雨淋不坏的广告，这种效益是无价的。

(1994年报刊精选 CCL)

[康賽(商標名)の名前がにぎやかな通りの傍に立っていた。風が吹いても倒れない、雨に濡れてもだめにならない広告であった。このような効果は値のつけようがないものであった。]

(10) 有些驾驶人员为了运输进藏物资冻坏了耳朵、鼻子、乃至手脚，成为残废；

(1994年报刊精选 CCL)

[運転手の中にはチベットに届ける物資を輸送するために耳、鼻さらには手足が凍傷にかかって、障がい者となってしまう者もいた]

働きかけの対象が「壊れる」と一概に言っても、その状況は異なる。

(11) 二是我有辆破自行车，可以供红卫兵们随便使用，骑坏了，我修好，他们再骑。

(冯骥才《一百个人的十年》 CCL)

[第二に、私はぼろの自転車を持っており、紅衛兵に自由に使わせることができた。乗っていて壊れたら、私が修理して、また彼らが乗る。]

(12) 在这里他工作了仅4年，却骑坏了4辆自行车。(1993年人民日报 CCL)

[ここで彼はわずか4年働いただけなのに、4台の自転車を乗りつぶした。]

例(11)では「ブレーキが壊れた」「タイヤがパンクした」など、部品が壊れたことが表されている。ここではその都度修復が可能な一回性の出来事について言及されているのに対し、例(12)では長期的な使用による「消耗」あるいは「経年劣化」のために使用済(廃棄)となったことが表されている。

(13) 踢球，踢球，一个月踢坏了三双鞋。(语言学论文 CCL)

[サッカーばかりして、1ヶ月で3足のシューズをだめにした。]

このことに関連して、“撕、打”をはじめ、その行為が意図的であった場合には“V坏”の形で破壊を目的とする行為を表すものの、次のような「放置」(例(14))や「貯蔵」(例(15))を表すケースについても、対象が時間の推移とともに変化するという結果が明白であるがゆえに、その作用の制御に関して動作主の責任が生じ得るものである。

(14) 桔子买来没吃都放坏了。(《汉语动词—结果补语》)

[みかんを買ってきて食べないままに放っておいたら、だめになってしまった。]

(15) ……但喜欢藏食物的仓鼠却总是不吃自己藏的食物就很让人无语了，食物被藏坏了也就只能被清理掉了，(出典 URL 省略)

[…しかし食べ物を隠すのが好きなハムスターは、いつも自分で隠した食べ物は食べることがなく、(我々は)閉口させられる。食べ物が隠されてだめになっても、きれいに取り除くしかない…] この「何もしない」という状況が、行為の主体である人の悪化を引き起こすケースとしては“闲坏(了)”のような組み合わせが挙げられる。次の例からは文脈により、「仕事をせずにぶらぶらしているとだめになる」という因果関係を読み取ることができる。

(16)他认为很多人都是闲坏的。我由“安办”分配去了个工厂，试用期未滿，就被炒了鱿鱼。

(王朔《空中小姐》)

[彼は多くの人は暇だからだめになるのだと思っていた。私は「職業斡旋所」に配属されて、ある工場に行ったが、試用期間を待たずして首になった。]

## 2.2 体への影響

形容詞が結果補語になった際の“语义指向”[意味指向]

来早了 [早く来すぎた] 【動作自体】

写累了 [書き疲れた] 【動作の仕手】

把球压扁了 [ボールをぺしゃんこにした] 【動作の受け手】

斧子砍钝了 [(たたき切って) 斧の切れ味が悪くなった] 【動作の際に使用する道具】

坑挖浅了 [穴を掘るのが浅すぎた] 【動作の産物】

(马真・陆俭明 1997 : 158—159 体裁および日本語訳は引用者)

教坏了 【受け手】 [(教えて) 悪く染める]

学坏了 【仕手】 [(学んで) 悪く染まる]

马真・陆俭明 1997 は結果補語となる形容詞の意味指向の1つとして、さらに「当事者の体の器官や体のある部分」を挙げている。

(17) a. 哭红了眼睛 [泣いて目が赤くなった]

b. 脚都站麻了 [立っていて足がすっかりしびれた]

(例(17)は马真・陆俭明 1997 : 158 体裁は引用者)

その中には補語“坏”を用いた例も含まれている。

(18) a. 我的肚子吃坏了 (马真・陆俭明 1997)

[物を食べて) 私のお腹の調子が悪くなった。]

b. 把脚踢坏了 (马真・陆俭明 1997)

[蹴って足を痛めた]

ここではそれぞれ「体調を崩す」(例(18a))、「物理的に破損する(怪我する)」(例(18b))といった身体に対する悪影響が表されている。以下、「“V 坏” + 身体部位」の組み合わせ(介詞“把”や主題化による目的語の前置も含む)としてどのようなものが見られるか個別に考察する。

【吃坏 + 肚子 (例(18a))、身体、胃、牙】

(19) 她 16 岁出国留学时，田中角荣在羽田机场为她送行，频频语声哽咽地要她“别吃坏了身体！”

(作家文摘 1994 CCL)

[彼女が 16 歳で留学するとき、田中角栄は羽田空港で彼女を見送る際に何度も涙で声を詰まらせながら「食べて体を壊すなよ！」と言っていた。]

(20) 60 军起义出城后，军长曾泽生下的第一道命令，就是好饭好菜不可多吃，以免把胃吃坏了。

(出典 URL 省略)

[第 60 軍が武装蜂起して町を出た後、指揮官の曾沢生が下した最初の命令は「豪華な料理をたくさん食べてはならない。胃を悪くしないように」であった。]

(21) 小孩子吃糖过多并不好，容易把牙吃坏了！（老舍《女店员》）

[子どもがアメを食べすぎるのは決してよくない。容易に歯を悪くしてしまう！]

#### 【看坏 + 眼睛】

(22) 我的眼睛就是在弱光下看书看坏的。（《汉语动词—结果补语》）

[私の目は弱い光のもとで本を読んだせいで悪くなったのだ。]

#### 【听坏 + 耳朵】

(23) 告诉学生说，没钢琴就没有准音，这样把耳朵听坏了，一辈子也别想有成就。（不光《闯西南》 CCL）

[「ピアノがなければ正しい音はない。それだと聞いていて耳をだめにしてしまい、一生成果なんてあり得ない。」と学生に告げた。]

#### 【哭坏 + 眼睛(例(3))、身子】

(24) 周大贵劝道：“娘，别哭了，别哭坏了身子。”（李晓明《平原枪声》 CCL）

[周大貴は忠告して「母さん、もう泣かないで。泣くと体を悪くしてしまうよ。」と言った。]

#### 【愁坏 + 身体】

(25) 但马父也担心儿子愁坏身体，还是东拼西凑，汇给儿子 1 万元。（出典 URL 省略）

[しかし、馬の父親も息子が悩んで体を悪くすることを心配した。やはりあちこちからかき集めて、息子に 1 万元送金した。]

#### 【气坏 + 身子】

(26) 您要是为这么点儿小事气坏了身子，那可就没划不来了。

(『中国語口語表現 ネイティブに学ぶ慣用語』 35)

[もしこんな小さなことで腹を立てて体を悪くしてしまったら、それこそ割に合いませんよ。]

怒るという行為と体が悪くなるという結果について、例えば「腹を立てると血圧が上がる」といった具体的な事象であれば因果関係は明白であるものの、実際の運用においては例(26)の“气坏了身子”のような漠然とした総体的な言い回しで事足りることも少なくない。この点、日本語の「～したら、体に障る」という表現に通じるものがある。

例(24)～(26)は精神的な活動が引き起こす体調不良に言及したものであるが、このほかに、結果補語“坏”と結び付いて“身体”や“身子”を目的語にとれる動詞・形容詞としては“饿、忙、累、闷、冻”など状態的なものが挙げられる。

坏 ⑤ 形 表示身体或精神受到某种影响而达到极不舒服的程度，有时只表示程度深：

饿坏了 气坏了 忙坏了

(《现代汉语词典》第7版：566)

ここでは結果補語“坏”と結び付く動詞・形容詞として先に挙げた“饿、气、忙”を用いた例が見られるものの、この辞書の記述は「ひどく～」の意味を表す程度補語の用法について言及したものだと言える。前半に見られる“表示身体或精神受到某种影响”という記述も、この程度補語の用法で“坏(了)”と組み合わさる動詞・形容詞が“吓、嫉妒、担心、激动、高兴、乐、急”など心理活動を表すものや“渴、累、疼”など人の生理感覚を表すものであることに起因すると言える。しかしながら、同様の「身体や精神に影響を与える用法」は、先に見た「動詞+結果補語」が目的語を伴っていたケースに限られるものではない。すなわち以下の例のように“V坏了”の形で目的語がなくても、体(の一部分)への悪影響を表すことはできる。

(27)一人道：“你怎么一回事？一晚上泻了好几次！”另一人呻吟说：“今天在韩家吃坏了——”

(钱锺书《围城》)

[一人が「君、どういうこと？一晩で何度もお腹を下すなんて！」と言うと、もう一人がうめいて言った。「今日、韓さんの家で食べたのが当たって—」]

(28)一到家，她说胃痛，叫李妈冲热水袋来暖胃。李妈忙问：“小姐怎么吃坏了？”(钱锺书《围城》)

[家に着くと、彼女は胃が痛いと言った。ばあやの李さんに(ゴムの)湯たんぽにお湯を注がせて胃を温めた。ばあやの李さんは慌てて尋ねた。「お嬢さん、どうしてお腹を壊したんですか？」]

“S吃坏了O”形式において、“坏”が指向する成分は身体部位を表すOである。SとOは全体と部分の関係であるが故に、Oを伴わない“S吃坏了”形式においては概念上のメトニミーに基づいて“坏”がSを指向し得ることになる。

(29)“好孩子！好孩子！要想开点呀！你要哭坏了，谁还管你的婆婆呢？”(老舍《四世同堂》)

[「いい子だ！いい子だ！くよくよしないで！あなたが泣いて体を悪くしたら、誰があなたのお義母さんを見るの？」]

(30)有几次，我见到几个小孩在雪地上躺着晒太阳。我跟大人说，这样要冻坏的。(《读者》 CCL)

[何度か、私は数人の子どもが雪の積もった地面の上に寝そべて日向ぼっこをしているのを目にした。私は、こんな風にしてると冷えて(子どもが)体を悪くしてしまうと大人に言った。]

例(29)では仮定を表す従属節で“哭坏了”が使われており、その目的語は表示されていないものの、後続の節との関係で“坏”の指向するものが「体」(“身子”)であることが読み取れる。

(31)你有什么事尽管说，千万别憋坏了

[何かあったら遠慮なく言いなさい、決して我慢して健康を損なうことがないように]

(《中国语补语例解》38 日本語訳も原文のまま)

例(31)では“憋坏了”の後に目的語“身子”を補うことができる。ここでは統語的に目的語をとっていないため、“坏”の意味指向としては文頭の“你”となっており、体調不良が表されている。

また反対に、次の例では目的語の“胃”がなくても子どもの「体への悪影響」を表す意味で統語的に成立する。

(32) “这个不能吃，小孩子吃这个，还不辣坏了胃！”(出典 URL 省略) (→ ……还不辣坏了!)

〔「これは食べちゃだめだよ。子どもがこれを食べると、辛くて胃を悪くしちゃうよ!」〕

こうしたものに対し、同じく体への悪影響を表す次の例では対象となる O は身体部位ではなく“東西”となっているものの、この場合には“吃饱了饭”の“饭”のような共起する動詞に意味的に編入された情報量の低い項 (argument) であり、補語“坏”が指向する対象ではない (ここでは (下線部の) “東西”は統語的に省略可)。

(33) 李嫂说：“拉肚子都是因为吃坏了东西，你们要当心，不要乱吃东西。”

(刘国芳《刘国芳小小说三篇》 CCL)

〔李お婆さんは「お腹を壊したのは物を食べたせいよ。あなたたち、気を付けなさい。みだりに物を食べてはだめよ。」と言った。〕

こうした用法との関連で想起されるのは、「結果や影響が生じること」を表す結果補語“着”が用いられた“你摔着了没有?”といった表現である。ここでは因果関係に基づき、「(転んで) けがをしなかった?」(“你摔伤了没有?”) という意味で、言語化されていない体への悪影響を及ぼす段階まで表すことになる。統語的にその影響を受ける身体部位を目的語にとることができる点も、“V 坏了”の用法と共通している。

(34) 摔着{头/腿/手/胳膊}了 [転んで {頭/足/手/腕} をけがした] (丸尾 2017 : 130)

### 3 “写坏了”の表す意味

(35) a. 写字 [字を書く] 【結果】

b. 写毛笔 [毛笔で書く] 【道具】

c. 写草字 [草書体で書く] 【方式】

d. 写黑板 [黑板に書く] 【場所】

e. 写人物 [人物を描写する] 【受け手】

(《汉语动词用法词典》415—416 体裁は引用者)

このように動詞“写”が多様な目的語と結び付き得ることに加えて、さらに 2.2 で見たように補語“坏”が指向するものが 1 つに限られないために多義となるといった要因から、フレーズ“写坏了”については、文脈や結び付く目的語に基づいてその表す意味が確定されることになる。以下、“写坏了”の補語“坏”が意味的に指向するものを①～④の 4 つに区分して考察しつつ、他の動詞を用いたケースについてもあわせて言及する。

#### ①【動作・行為】

(36) “想起来了。那人是在 7 点左右来的，说生怕写坏了，要了三张住宿登记卡。”

(森村诚一《高层的死角》 BCC)

〔「思い出しました。その人は 7 時頃来て、書き損じるといけないからと仰って、宿泊登録カードを 3 枚要求されたんです。」〕

ここでの補語“坏”は“写”という動作を指向し、その失敗を表すものである。登録カードに間違いなく記入するという目的を達成できないことが述べられている。同様に、次の例に見られる動詞“考”や

“帮”はよい結果を求めようとする行為であり、“买房子”についてもよいものの獲得を目指す行為であるがゆえに、“V坏了”の形を用いて、失敗が表されることになる。

(37) 期末考试我考坏了, 可能及不了格。(《汉语动词—结果补语》)

[期末試験はしくじった。おそらく合格しないだろう。]

(38) 自己帮别人做事反而帮坏了, 这个成语是什么 (出典 URL 省略)

[自分が他の人を手伝ってやってあげたことがかえってだめにしてしまった。この(ことを表す)成語は何でしょうか? 【見出しの文言】]

(39) 房子买坏了, 采光太差, 还能再抢救一下吗? (出典 URL 省略)

[家を買うのに失敗した。日がほとんど差さない。それでもまだ緊急措置をとることができますか。]

動作・行為の目的との関連で言うと、元の正常な状態への「修復」を目指す“修、治、看(病)”などの行為も一種の「製作義」を表すものであり、補語“坏”との組み合わせで、その目指すべき結果が得られなかったこと、あるいは、当初の目的が思い通り達せられなかったことが表される。

(40) 维修单位把车修坏了, 磨破嘴皮也得不到赔偿; (2000 年人民日报 CCL)

[補修部門は車を修理して壊してしまい、あれこれ(クレームを)言っても賠償はしてもらえなかった]

(41) 老人反映他的眼睛被治坏了, 尧挥彬厅长安排有关部门为老人做医疗事故鉴定,

(新华社 2001 年 1 月份新闻报道 CCL)

[老人は彼の目が治療によってだめになったと報告した。尧揮彬(衛生庁)長官は関連部門を手配して老人の医療事故の鑑定を行い、]

(42) 我的病让大夫给看坏了 [私の病気は医者に診てもらって悪くなった]

(《中国语补语例解》279 日本語訳も原文のまま)

“修、改、治、看(病)”などの行為が行われる前提としては、その対象の状態がよいものではないことが挙げられる(例: 故障している; 不備がある; 病気にかかっている)。すなわち、“V坏了”の形でその行為を行うことにより、状況がさらに悪化したことを表すものであり、ここでの失敗の意味は破壊義に基づくものだと言える。

一方で、製作義の場合に見られるような「目指すべき良好な状態」が想定できない動作については、満足義(“完善義”)を表す結果補語“好”とともに用いて対挙形式(V好V坏)にすることにより、期待する結果が得られない意味を“V坏”に付与することができるようになる。

(43) 很多鸽友总是喜欢把鸽子飞好飞坏说是运气影响的, 其实运气只不过是一小部分罢了, 更多的还是实力。(出典 URL 省略)

[ハトを飼っている多くの仲間はいつもハトがうまく飛ぶか否かは運次第だと好んで言うものの、実際には運というのはほんの一部にすぎない。さらに多くを占めるのはやはり実力である。]

## ②【道具】

(44) ……到现在他最起码已经写坏 30 多支钢笔。(都市快讯 2003-6-25 BCC)

[…これまでに彼は少なくともすでに 30 本あまりの万年筆をだめにした。]

(45) ……光一个永字, 寒梅就不知写坏了多少张纸, (卫小游《嫁约》 BCC)

[…“永”という 1 つの字だけで、寒梅はどれだけの枚数の紙を書き損じたかしれず、]

補語“坏”は例(44)では万年筆、(45)では用紙という製作時に使用する道具を表す目的語をそれぞれ指向している。ここでの“写坏(了)”は「書いて悪くする」という意味を表す、先に言及した“坏”の使役化に関わる形であり、道具に対する働きかけから、物理的な破壊を表したり、その機能を損なうことを表すものである。この例(44)や(45)のように時間の推移とともに破壊した数が示されている場合には、先の例(12)(13)で見た消耗義とリンクする。

### ③【生産物 (1)】

(46) 梦依手一抖，竟然写坏了一个字。她微蹙黛眉，放下手中的毛笔，看向天香。

(岳盈《王爷抢亲》 BCC)

[夢依はさっと手を払うと、あろうことか字を 1 つ書き損じてしまった。彼女はわずかに引き眉をひそめると、手にしていた筆を置いて、天香のほうを見た。]

ここでの補語“坏”は“写”という行為を通して新たに生み出されたものである結果目的語“一个字”を指向している。これは誤字を書いたのではなく、書き損じたという意味である。すなわち“写字”の“字”は“同源宾语”の一種であるがゆえに、ここでは実質、先の①で見たケースと同様に行為の失敗の意味を表すことになる。

これに対し、例(46)と同じく“坏”が生産物を指向するものの、次の例(47)では“结局”の内容がよくないという低評価、およびそのことに対する不本意な心情を表すのに“坏”が用いられている。

(47) “苗红说我把结局写坏了，我打算重写。” (亦舒《红尘》 BCC)

[「苗紅は私が結末を書き損じたと言うので、私は再び書くつもりだ。」]

“写(作品 / 作文)、拍(照片)、演(角色)”など原稿・作品といった製作物を生み出すケースもこれに相当し、“V 坏了”の形で低評価の意味を表し得る。

(48) 那是一本被我写坏了的作品。写它时我的能力不够，…… (张承志《荒芜英雄路》 BCC)

[あれは私が書き損じた作品だ。あれを書いたときには私の能力はまだ不十分で…]

(49) 这篇作文写坏了，只得了六十分。(《汉语动词—结果补语》)

[この作文は書き損じた。60点しか取れなかった。]

(50) 亚当斯……将法国总统密特朗的照片拍坏了而要求重拍，让英国首相撒切尔夫人及四位欧洲政要排队等候拍照，(作家文摘 1994 CCL)

[アダムスは(中略)フランス大統領ミッテランの写真がうまく撮れなかったので、もう1度撮るように要求し、イギリス首相のサッチャー夫人と4人のヨーロッパ政界の要人を並ばせて写真撮影をするのを待たせて…]

製作義を表す動詞を用いた場合、その動作の目的および目指す結果とは「完成」さらには「より高いレベルの作品の産出」である。そうした動詞と結果補語“坏”が組み合わせると不本意な結果であることが表される。

以上、①～③に見られる“写坏了(+O)”の表す意味関係を図示すると次のようになる。

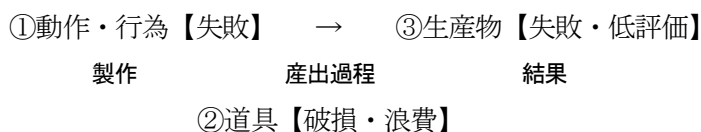


図1 “写坏了(+O)”の表す製作義に関わる相関図



#### ④【生産物 (2)】

(51) “……我恨许多的传记，因为它们是不真实的。我国的许多伟人，都被他们写坏了。”

(读书 vol-036 CCL)

「…私は多くの伝記を恨んでいる。なぜならそれらは真実ではないからだ。我が国の多くの偉人は、皆彼らによって悪く書かれてきた。」

上記③と同様に対象の評価に関わるものであるものの、この④については動作主体がある意図・目的をもって低評価の生産物を産出している（悪く書く）という点で、発話者の判断に関わる③のケースとは異なるものである。

#### 4 終わりに

以上、結果補語“坏”の表す悪影響という概念について、「何」が「どのように」悪くなるのかということ念頭に置いて考察した。例えば本発表で扱った動補フレーズ“哭坏了”については、例(3)に見られる“别哭坏了眼睛。”の表す目的語“眼睛”に対する悪い影響がどのようなものかが判然としないことに加え、さらには例(29)“你要哭坏了，……”のように目的語をとらない形で使用することもできるといった様相により、日本語に訳す際には往々にして状況を補足する必要が生じる。目的語の“眼睛”に着目してみると、

看坏了眼睛 (例(22)参照) 正常な機能の低下 → 視力低下

##### 【道具】

哭坏了眼睛 (例(3)参照) 機能への影響 視力低下 cf. 哭瞎了  
物理的影響 (場所) cf. 哭肿了

このように複合的な要素を考慮する必要があるという点からも、“V 坏了”は推論や文脈への依存の度合いが高い表現であると言える。

注) 没小心把纸包坏了 [包んでいる時、うっかり紙を破ってしまった]

(《中国語補語例解》16 日本語訳も原文のまま)

原文では、その想起のしやすさから“坏”の表す悪影響の中で“包碎 / 包破”などと同義と捉えて「破れる」と意識されているものの、他にも「包装紙の位置がずれる」「しわが寄る」といった状況も想定し得る。

#### 参考文献 (一部のみ)

马真・陆俭明 1997. 〈形容词作结果补语情况考察〉、『橋本萬太郎紀念中国語学論集』余霽芹・遠藤光暁編，内山書店。

曾李 2018. 《反义词“好”“坏”的对称性研究》，世界图书出版西安有限公司。

丸尾誠 2017. 「中国語の結果補語“着 zháo”の表す対象への働きかけ — 「接触義」から考える —」『日中言語対照研究論集』第 19 号，日中対照言語学会（白帝社）。